

【学校協議会資料】

平成28年度 堺東高等学校 第2回 学校協議会 ご提言・ご意見のまとめ

平成28年度 堺東高等学校第2回学校協議会が、12月2日に開催されました。第2回の協議事項は、「学校経営計画における今年度の取り組みの中間報告」、「各分掌、学年、委員会より現状報告と今年度の取組みについての中間報告」「進路の中間報告と大学入試改革の動向」の3点です。当日、各委員のご提言、ご意見の概略を以下のようにまとめました。

協議会委員

- 1 津田 謹輔 (帝塚山学院大学 学長)
- 2 山田 秀和 (堺市立晴美台中学校 校長)
- 3 重谷 崇夫 (社会福祉法人白水福祉会
三原台認定こども園 園長)
- 4 森 繁樹 (本校同窓会長) 欠席
- 5 高尾 吉彦 (本校PTA会長)
- 6 今井 貴文 ((株)ベネッセコーポレーション)



北野校長の挨拶

事務局

校長 教頭 事務長 首席 企画委員

【次第】

- 1 校長挨拶
- 2 今年度の学校協議会委員及び事務局員の自己紹介
- 3 学校経営計画における今年度の取り組みの中間報告について (校長)
- 4 各分掌、学年、委員会より今年度の取組みの中間報告について (各部代表)
- 5 「進路の中間報告と大学入試改革の動向」について (進路指導部)
- 6 その他、今後の日程

第2回テーマ

「学校経営計画における今年度の取り組みの中間報告」

「各分掌、学年、委員会より今年度の取組みの中間報告」

■校長より

本日の協議に入る前に、校長より挨拶に続いて堺東高校の近況報告がありました。

- 現在、中間考査期間となっております。11月26日の土曜日に1,2年対象に1日勉強会を行い、1年生130名、2年生70名程度の参加があり、集中して学習していました。また、12月2日には自立支援コースの説明会があり 名の中学生・保護者などが参加していただきました。
- 平成29年度入試については、この春の入試の倍率が1.07倍と低くなってしまいました。原因としては、前期入試であったものが、一般選抜となり横並びになったことが一番大きいと思われます。ただ、府下の総合学科が軒並み低倍率であったことを考えると「総合学科自体がよくわからない」ということも一因になっているのではないかと考えています。今年は、10月に指定校推薦などで進路が決まった3年生に出身中学校に資料を持って行ってもらうとともに、高校生活の様子や総合学科について話をしてもらうように依頼し、10校の中学校に行ってもらいました。中学校の先生方からもおおむね好評でしたので、来年以降も続けて行きたいと考えています。
- 校長会の説明では、平均してこれから5年間で毎年2000人の中学校卒業生数減になる。大雑把に計算しても府立高校としては180学級程度減少することになるので各校魅力ある学校づくりに努力してほしいという報告がありました。
- 本日の後半は、ベネッセの今井さんから「大学入試改革の動向」をテーマにした講演を予定しています。

■学校経営計画における今年度の取り組みの中間報告について質疑

応答

□説明 ・ ■意見・質問

◇「学校経営計画における今年度の取り組みの中間報告について、校長より説明

【 1、確かな学力の育成 】

- 本校では、学力向上プランを策定し「積極的に学ぶ意欲を持った生徒の育成」「基礎学力の定着」を目標にがんばっています。そのため重要になるのが先生方の授業力だと考えています。校長・教頭は、年に2回先生方の授業を見学し、コメントするようにしています。

【 2、安全で安心な学校づくり 】

- 聴覚過敏などいろいろな障がいのある生徒が入学してきています。合理的配慮ということとでいろいろ対応していただき、できることとできないことを判断して、がんばって対応してくれていると思います。また、いじめについての報告も受けていません。

【 3、夢にチャレンジする積極的な生徒の育成 】

- 「〇〇大学進学」ということではなく、自分が何を学ぶために上級学校に進学するのかを考えるような取り組みを学年・進路の先生方が行ってくれています。また、生徒会活動や部活動にも積極的に取り組む生徒を育てたいと考えています。しかしながら、部活の加入率は目標より低い75.5%程度となっています。



- 中学校とのクラブの交流についてありましたが、中学生がきて会場を貸して大会を開いているということか。
- 運営のサポートするだけでなく、人数の足りない中学校には本校生をレンタルしていたり、チームとして参加したりする場合もある。中学2年生がくることが多いので、本校の部活を見てもらって、魅力が伝わるように工夫している。
- 授業アンケートをとっておられますが、どのように先生方に対応されているのか。
- すべての先生の授業を見学して評価、コメントしている。特に、評価が著しく低い先生については少なくとも2回以上授業を見学して助言している。

■各分掌・委員長からの説明に対するの質疑応答

□説明・■意見・質問

【 3学年より 】

- いよいよ卒業式が近づいてきた。生徒たちによる卒業式委員会を立ち上げて、卒業の歌など検討に入っている。
- 文化祭の演劇は夏休み明けからがんばってクラスの結束ができた。9割の生徒がよかったと答えている。
- 9月は指定校の選定やA0入試の対応など、10月は後期の始まり、11月は公募制推薦の対応などばたばたしてあっという間に過ぎた。生徒たちも落ち着かないのか出席状況も悪くなってきていたが中間考査を前に少し落ち着いてきた。
- センター試験に140名程度出願しています。年末年始に対策講座やプレテストなど予定しているので最後までチームとしてがんばってほしい。

【 2学年より 】

- 文化祭では全クラスダンスを行った。完成度は今一歩だったが、まとまってできたと思う。リーダーシップを取れる生徒が少ないと感じているので来年に不安がある。
- 後期が始まりましたが、単位不認定者が増えている。基本的な学習ができていない生徒が少なからずいるので、集会で気を引き締めるよう指導した。
- 進路に向けて具体的に行動する時期になっている。模擬試験が100名を超えて受験するなど指導のおかげで意識はしている。
- 科目選択では昨年よりスムーズにできたが、個別にはいろいろ問題があった。モチベーションの維持が課題であるが、3年0学期として発破をかけて行きたい。

【 1 学年より 】

- 入学して 8 ヶ月たちました。社会に関心を持って主体的に取り組むことを大きな柱に取り組んでいます。
- 今年から 2 年間、NIE の指定校となり、11 月、1 月には在阪 5 紙を毎日教室に持って行って一押しの記事を発表している。家庭の 3 分の 2 が新聞を取っていない、取っていても読まない状態だ。USJ, ドラえもん、トランプ次期大統領など取り組みやすいところから話題にするように工夫している。世間に目を向けてくれればと考えている。
- 行事にも積極的に取り組もうと文化祭では、学年の一人ひとりが役割を決めて大きな貼り絵を作成した。
- この学年は、入試の倍率が低かったこともあって学力的に厳しい生徒が多い。まじめな生徒が多く、宿題を完璧にこなさないと出せないと思いついで登校がままならない生徒も出てきている。追い込むのではなく配慮しながら伸ばしていけたらと思っている。
- 進路といいながら、「進学」と聞こえる。それ以外の道はどうなっているのか。
- 自分の興味を活かしたいと思っているようだ。この分野でがんばって行こうと考えている生徒が多い。公務員志望や専門学校を希望している生徒も結構いる。勉強していても損になることはないのだからしっかりがんばるよう指導している。
- 探求講座などで私の夢を語ったり、新聞を使って社会を知る取り組みや大学訪問などを行って自分の将来について考えるように指導している。
- 就職希望者が 4 名、公務員希望者が 5 名、フリーが 3 名なのでどうしても、進学についての説明になってしまう。
- 文化祭・体育祭の満足度が 90% 以上は素晴らしい。先生方はどのように関わっておられるのか。はみ出る生徒はいないのか、経費はどうなっているのか。
- 体育祭・文化祭は実行委員会形式で行っている。クラス担任や生徒会部でもアドバイスをしているが、ほとんど自分たちで行っている。しょっちゅうもめているが、自分たちで調整しているようだ。経費については、学年費で援助しているが、生徒たちで集めているようだ。
- センターを 140 名受験するようだが、なにか仕掛けはしたのか。
- 進路指導部を中心に「センターを受けると機会が増える」と声をかけ続けた。センターを身近に感じているのではないのか。

【 総務部より 】

- 11 月 19 日に第 2 回のオープンスクールがありました。378 名の中学生・保護者・先生方の参加があり、全体会・体験授業・部活体験を行いました。1 年生の係(各クラス 6 名)の生徒にも協力してもらってスムーズに行えた。

【 教務部より 】

- 講座編成・時間割については、少人数でも開講するようにしている。教員の時間割に偏りがあり、出張が入る日に授業があつたり調整が難しい。
- 成績のミスについては、講座のたびに注意喚起しているが小さなミスがいくつかある。
- 校務処理については何とか運用できている。

【 生徒指導部より 】

- 相変わらず、自転車のマナーについてご指摘を受ける。興味があることはできるが、耳の痛いことはまだまだである。教員の姿があればできるので、主体的にできるよう指導を続ける。
- 今年は遅刻の数が多く、前期だけで昨年1年間の数になっている。4,5,6月は少なかったが、その後増加傾向にあるので注意している。

【 生徒会部より 】

- 後期の生徒会執行部も人数は集まった。堺支援学校との交流会に向けて企画を考えるなどしている。

【 人権教育委員会より 】

- 12月の堺支援学校等の交流会は、68名の3年生が来校予定。1月に虐待防止プログラムを予定している。
- 2年生に司法書士の方に奨学金は借金、よく考えて借りること、アルバイトの労働条件などについて講演していただいた。3年生にはHIVや性感染症について説明していただいた。看護師を希望している生徒にはいい刺激になったようだ。ともに生徒の満足度は高かった。
- 教職員研修として、8月に聴覚障がいの子供についての経験を講演いただいた。できることからやってみる、行動して考えることが大切であると分かった。1月には児童養護施設の先生に来ていただいて講演を予定している。

【 進路指導部より 】

- 学年の国数英の先生が中心になって動いている。担任の負担が大きくなっているのでできれば学年主任に仕事の割り振りをお願いしたい。
 - 新しくこられた先生が増えているので学力向上プランの経緯が分かっていない。きっちり説明をして負担の平均化を目指すべきだ。
 - 1年には「なぜ学ぶのか」の講演を行った。2年は後期を3年次0学期と位置づけて学習に目が向くよう話をした。3年は進路を目の前にして、安易な志望をしている生徒をどう指導するのか、140名センターを受験するが結果を見てどう指導するのか、近畿大学など公募制推薦の志願者が減っているので動向が分からない。
-
- 浪人についても相談に乗っている。
 - 宿題の提出率はどうか。
 - しっかり提出している

■ 今井様(ベネッセ)より

ご講演「大学入試改革の方向性について」

- 学校運営についてこの場に来ているので、この講演については別の機会のほうが値打ちがあると思う。グローバル=英語を使うと勘違いしているように感じる。大学が変わるので高校も変わるという考え方は雑な考え方だと思う。今後どのように対応されるのかよく精査されたほうがよいのではないか。
- 文部科学省は、大学に押し付けてきている。それに従っていくことも仕方がないのではないか。
- 進学重視の総合学科を前面に出しているので、次のステージに向けてどんな力を身につけるべきか、どのように対応すべきか検討する必要がある。特に英語は先行しているが、全ての教科に関わる問題なので日ごろの勉強の仕方や科目選択のさせ方など考えて行きたい。



今後の日程

【第3回】 平成28年 2月24日(金) 午後2時~4時
を予定しています。よろしくお願いいたします。